

令和7年度 鳩里小学校 学校自己評価

1 学校教育目標 豊かな心を持ち、自ら考え学び続ける子の育成 一人間尊重、生命尊重の精神を基盤に、豊かな心と自ら学ぶ意欲や態度を育て、生きがいをもって生きぬく人間の素地を養う—			
2 本年度重点目標 (1)児童一人一人が認められ、大切にされる学校づくりの推進 (2)いじめを許さない、自他のいのちと心を大切に作る豊かな心をもつ児童の育成 (3)ICTの効果的な活用、協同的探究学習を通して、「確かな学力」を育む授業実践 (4)SDGsの考えを取り入れ、持続可能な社会の担い手を育む教育活動の充実 (5)学校運営協議会及び学校園連携ユニットの活用による地域とともにある学校づくりの推進 (6)働きがいを感じる学校組織力と教職員の資質能力の向上及び勤務の適正化の推進			
3 自己評価と改善の方策 評価基準 A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない			
努力項目	評価項目	達成状況	改善の方策
(1) 「確かな学力」の育成	学びに向かう力の育成	A	協働的な学びの充実を図り、多様な意見を認め合う授業づくりを進め、学習への意欲向上を図る。
	「できる学力」の育成(基礎基本の定着)	A	朝の学習やICTを活用したドリル学習を活用し、繰り返し学習できる活動の充実を図る。
	「わかる学力」の育成(思考力・判断力・表現力の育成)	B	協同的探究学習のさらなる充実を図るとともに、ペアやグループ学習などによる協働学習の場面を積極的に取り入れる。
	ICTの活用	B	ICTを活用した授業事例の共有化を進めるとともに、児童に積極的にパソコンを活用させることで学力の効率的な向上を目指した授業づくりを進める。
(2) 「豊かな心」の育成	自己肯定感を育む人権教育の充実	A	命の学習を中心とした人権教育をさらに進めるとともに、人権フェアなど家庭・地域との連携をさらに深める。
	居場所のある学校・いじめを許さない集団づくり	A	児童主体の活動をさらに充実させるとともに、道徳や人権などの学習との連携を図り、さらに効果的な活動となるよう進める。
	情報モラル教育の充実	B	情報モラル教室を複数学年・回数実施するとともに、家庭でのルールづくりなど保護者への啓発をさらに進める。
	あいさつの励行	C	学校のみならず、地域であいさつができる児童の育成をめざして、校区安全の日など、あいさつ運動のさらなる充実を図る。
(3) 「健やかな体」の育成	運動への意欲向上	B	運動の重要性を意識することができるよう、命の学習と合わせて、健康教育の充実を図る。
	規則正しい生活習慣の定着	A	系統的な健康教育を進めるとともに、学校だよりなどを通じて保護者への啓発をさらに進める。
	安全・防災教育の充実	A	さまざまな状況を想定した防災訓練を計画的に実施するとともに、事前事後指導の充実を図り、実践的な防災教育の充実を図る。
(4) 信頼される学校づくり	情報発信	B	スクリレ等のさらなる充実を図り、保護者に対してわかりやすい情報発信に努める。
	感染症対策・熱中症予防	A	対策を講じながら児童の学びと育ちを保證できるよう、常に最新の情報を集め、感染症対策・熱中症予防を講じる。
	心に寄り添った生徒指導の充実	A	アセスや教育相談を効果的に活用し、児童に寄り添った心に響く指導の充実を図る。
(5) 教師力の向上	授業力の向上	A	系統的・計画的な研修を設定するとともに、どの教職員にも相互参観などを実施し、授業力向上を図る。
	特別な支援が必要な児童への対応	A	児童の実態を的確に把握した指導が行えるよう、毎月実施しているミニ研修のさらなる充実を図る。
	勤務時間等の業務改善への意識向上	C	教職員が心身ともに健康であることへの意識をさらに高めるとともに、行事の精選や校務分掌の見直しを進め、働きがいのある学校づくりを進める。